

「避難所会話セット」の使い方

埼玉県県民生活部国際課

第1 避難所会話セットとは

1 目的

震災が発生してから、各避難所に通訳ボランティアが到着するまでの数日間に、避難所の職員と外国人被災者が、必要最低限の意思伝達ができるようにすることを目的としています。

2 構成

次の3点で構成されています。

- (1) 「避難所会話セット」の使い方（今、お読みになっているものです）
- (2) 避難所の指さし会話シート（1～7まであります）
- (3) 外国人避難者用質問票（8種類。やさしい日本語と外国語＝英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、ハングル、タガログ語、タイ語、ベトナム語の併記）。

第2 避難所会話セットの使い方

1 理解できる言語の確認→「避難所の指さし会話シート1」

避難所に外国人がいることがわかったら、その外国人が理解できる言語を確認してください。

2 「外国人避難者用質問票」の記入依頼

その外国人が理解できる言語がわかったら、その言語の「外国人避難者用質問票」を渡して、記入してもらってください。

その際、「外国人避難者用質問票」の1枚目にある「この質問票の目的」を指でさして、質問票の趣旨を理解してもらってください。

3 「外国人避難者用質問票」の回収、内容の確認、対応

回答の内容により、次のような対応をしてください。

- (1) 健康状態に問題がある場合（質問1）→「避難所の指さし会話シート2」
救護所に案内してください。

(2) 「ほしいもの」がある場合（質問2）

① 「ほしいもの」を支給できる場合→「避難所の指さし会話シート3」

空欄に「時間」を記入してください。そして、指でさし示してください。

② 「ほしいもの」を支給できない場合→「避難所の指さし会話シート4」

空欄に、その外国人の「ほしいもの」を記入してください。「ほしいもの」が届く時間がわかる場合は、空欄にその時間を記入してください。届く時間がわからない場合は、2番目の文章（「 時 分頃届きます。」という意味の文章）を消してください。そして、指でさし示してください。

(3) 健康上、宗教上の理由により、食べられないものがある場合（質問3）

支給する際に、配慮してください。

(4) 家族に行方不明者がいる場合（質問4）→「避難所の指さし会話シート5」

各市町村の災害対策本部などに連絡して、安否確認の手配をしてください。

その後、シート5の空欄に、市（町・村）の名前を記入（タガログ語を除く）して、指でさし示してください。

(5) 通訳ボランティアが必要な場合（質問5）→「避難所の指さし会話シート6」

各市町村の災害対策本部などに連絡して、通訳ボランティアを手配してください。その後、シート6の空欄に、通訳ボランティアの来る日時を記入し、指でさし示してください。

4 情報の確実な引き継ぎ（質問票の職員記入欄）

「職員記入欄」には、月日、時間、担当者名、対応内容、懸案事項を記入し、その職員の不在時、あるいは他の職員と交代した後にも、その外国人に関する情報が確実に引き継がれるようにしてください。

5 あいさつ →「避難所の指さし会話シート7」

避難所で、外国人が孤立することがないように、声をかけてあげてください。